



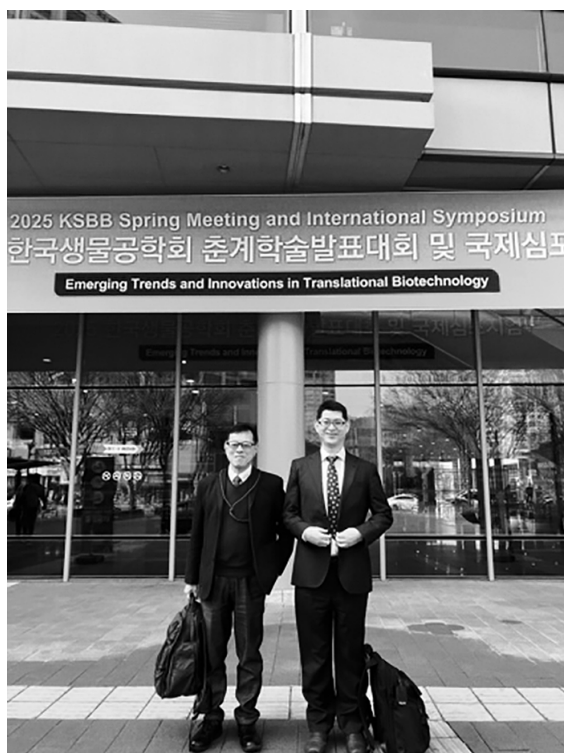
◇ 2025年 KSBB 春季大会に参加して ◇

(神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科) 石井 純

2025年4月2日(水)～4日(金)にかけて、韓国生物工学会(Korean Society for Biotechnology and Bioengineering; KSBB)の春季大会および国際シンポジウム(2025 KSBB Spring Meeting and International Symposium)が、韓国大田広域市の大田コンベンションセンター(Daejeon Convention Center; DCC)にて開催されました。

日本生物工学会(Society for Biotechnology, Japan; SBJ)はKSBBと学術交流協定を締結しており、両学会は年次大会に相互に講演者を派遣することで、国際的な学術交流を推進しています。本年度の春季大会には、福崎英一郎先生(2024年度生物工学賞・大阪大学)および筆者(2024年度生物工学奨励賞(照井賞)・神戸大学)の2名がSBJを代表して招待され、講演を行いました。

KSBB春季大会は例年通り3日間にわたり開催され、各日ごとに特色あるプログラムが構成されていました。初日はチュートリアルワークショップとDivision Sessionと題した口頭発表が行われました。2日目は、プレナリーレクチャー、シンポジウム、ポスターセッションが行われました。2日目のプレナリーレクチャーでは、Bernhard Palsson教授(UC San Diego, 米国)、菅裕明教授(東京大学, 日本)、Hanjoong Jo教授(Emory University & Georgia Institute of Technology, 米国)の3名が登壇しました。同日には、8つのセッション会場にてシンポジウムが並列開催され、ポスターセッションも同時進行で行われました。筆者は、「Genetic Circuit Engineering and Applications in Translational Biotechnology」のセッションにおいて、「Yeast Genetic Parts and Tools for Synthetic Biology and Cell Factories」というタイトルで講演いたしました。3日目のプレナリーレクチャーはJames C. Liao教授(President of Academia Sinica, 台湾)により行われました。その後、前日同様に各種シンポジウムおよびポスターセッションが開催されました。福崎先生は、「Synthetic Biology for Discovery of Novel Therapeutic Molecules」のセッションにおいて、「Pioneering Research on Metabolomics in the Field of Bioengineering」と題した講演をKeynote Speakerとしてご担当されました。



会場(大田コンベンションセンター:DCC)の様子



シンポジウム会場にて（2日目，筆者）



シンポジウム会場にて（3日目，福崎先生）



懇親会場にてKSBBおよびBESTメンバーと



懇親会でスピーチをされる福崎先生

会場となったDaejeon Convention Center（DCC）は、大田広域市（テジョン）に位置しており、ソウル駅からKTX高速鉄道で約1時間とアクセスも良好です。DCCは Expo Science Park内に位置し、周囲にはショッピングモール、レストラン、カフェ、美術館などが徒歩圏内に充実しており、滞在中も快適に過ごすことができました。

学会初日には、SBJおよびBiotechnology and Biochemical Engineering Society of Taiwan（BEST）の招待講演者を対象とした夕食会（Welcome Dinner）が開催されました。筆者は当日夜の到着となったため残念ながら参加できませんでしたが、SBJからは福崎先生がご出席されました。2日目朝には、KSBB-SBJ Breakfast Meetingと題した交流会が、DCC向かいのロッセシティホテルにて朝食形式で開催され、KSBB幹部との意見交換が行われました。昼食にはランチタイム、夕刻にはレセプションが催され、KSBB会長によるご挨拶の後、招待講演者や各国代表者によるショートスピーチが行われました。SBJを代表して福崎先生が挨拶され、台湾のBESTからの参加者とも交流が深まり、終始和やかな雰囲気の中で国際的なネットワーキングが進められました。

最後に、今回の学会運営および招待にあたり多大なるご尽力をいただきましたKSBB会長Kim Dong-Myung先生をはじめ、実行委員の先生方、KSBB事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。また、日本生物工学会の推薦により貴重な講演機会をいただきましたこと、そして事務局および関係者の皆様へKSBBとの調整にご尽力いただいたことに、深く御礼申し上げます。